

『大上地区社協』ニュース



■ No.32 ■ 平成23年3月発行 ■ 大上地区社会福祉協議会 ■ 発行責任者 市ノ澤 寅夫

「火曜喫茶店」の活動発表に関心が！ 市社協の地区社協活動活性化モデルの発表会で



発表する岩月理事(左)と会場

綾瀬市社会福祉協議会主催による“平成22年度地区社協活動活性化モデル事業報告会”が、去る3月22日(火)午後1時30分から2時間にわたって市役所3階の会議室において、70名が出席して開催されました。

大上地区社協からも市ノ澤会長、木村、青、の両副会長や、理事、会員の8名が出席しました。

当日は、市内14地区社協のうち、7地区社協が①個別支援活動、②福祉マップ作り、③サロン設置、④健康作り、の4ジャンルで活動状況を発表。大上地区社協は、6番目にサロン設置のテーマで「火曜喫茶店」の展開について、店長である岩月理事がスクリーンを使って発表。活動状況が次々にスクリーンに映し出されると、出席者はふれあいの家の特異な活動に、熱心に見入ると共に、発表後も質問が出て関心の高さを物語っていました。

東北関東大震災の被災者への義援金のお願い

大上地区社協は、3月22日(火)に臨時理事会を開催し、今回の東北関東大震災の被災地へ会員の皆さんの協力を頂いて義援金を送ることを全会一致で決めました。

義援金は、4月16日(土)に開催される大上地区社協の総会会場に募金箱を用意して皆さんの協力をお願いするものです。義援金は、1口500円とし、1口以上何口でも結構ですというもので、集まった義援金は神奈川県共同募金会綾瀬市支会を通して被災地へ届けられます。



大震災の翌日の新聞

理事の皆さんから救援の物資も！

同日の臨時理事会の席上、岩月理事から被災地の岩手県釜石市へ救援物資を運ぶトラック便が2日後の3月24日(木)に出発する話があり、理事の皆さんが協力しました。

救援物資は、現地の要望が多い味噌、醤油、砂糖などの調味料や、石鹸、タオル、日本茶、サランラップなどの生活必需品で、段ボール9個分が一日で集まり、他地域の救援物資とともに現地へ届けられました。



集まった
救援物資